



週間情報



No.0121

発行日 令和元年6月11日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 第71回全国消防長会総会を開催

全国消防長会

令和元年5月29日(水)、福岡市博多区のグランドハイアット福岡において、第71回全国消防長会総会を開催しました。

総会における議案審議事項、報告事項、決議等については、次のとおりです。

【議案審議事項】

- 第1号議案 平成30年度事業報告及び平成30年度収支決算について
- 第2号議案 令和元年度事業計画(案)及び令和元年度収支予算(案)について
- 第3号議案 令和2年度国の予算概算要求に関する要望について
- 第4号議案 令和元年度及び令和2年度全国消防長会役員の改選について
- 第5号議案 第72回全国消防長会総会の開催について

【報告事項】

- 1 防火・避難規定等に関する建築基準法改正に係る要望に対する国土交通省の対応状況について
- 2 平成30年度全国消防長会常任理事会審議結果に基づく措置結果について
- 3 「令和元年度救急車適正利用PRポスター」のデザインの決定について
- 4 消防力の整備指針の一部改正について
- 5 株式会社NTTドコモによる「みえる電話」サービスについて
- 6 楽天モバイルネットワーク株式会社の携帯電話事業参入について
- 7 消防指令システム等の相互接続に関する研究会の結果報告について
- 8 全国消防職員意見発表会のあり方に関するアンケート調査結果について
- 9 「第28回全国救急隊員シンポジウム」及び「第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会」の開催について
- 10 電子会議室の利用拡大と活用について
- 11 第31回アジア消防長協会(イフカ)総会の開催日程等について
- 12 第49回全国消防救助技術大会の開催について
- 13 一般財団法人全国消防協会の消防団体保険事業の現状と加入促進について

【決議】

- 第6号議案 第71回全国消防長会総会決議について

【消防庁見解】

「最近の消防行政をめぐる動向」

消防庁予防課長 鈴木 康幸 氏

【配布資料】

- 1 役職別会員の異動状況について
- 2 令和元年度及び令和2年度事業推進委員会委員及び消防問題検討会委員の委嘱について
- 3 市町村の消防の広域化の進捗状況等について
- 4 全国消防長会情報管理システムの更新等について
- 5 平成30年度消防行政相談について
- 6 法制執務研修会及び広報事務担当者研修会について
- 7 第48回全国消防救助技術大会のご案内について
- 8 一般財団法人全国消防協会の賛助会員の紹介について

令和２年度国の予算概算要求に関する要望（抜粋）

近年、気象の激化等によって風水害が多発しているが、平成３０年は台風２１号をはじめとする大型台風が相次いで日本列島に上陸し、交通や電気、港湾機能などのインフラに深刻なダメージを与え、各地に大きな被害をもたらした。

さらに大阪北部地震など地震も頻発しており、北海道胆振東部地震では前日の台風による豪雨も影響し、大規模な土砂災害が発生するなど、これまでにない複合的な要因によって被害が拡大した。南海トラフ地震や首都直下地震といった巨大地震の発生も懸念されており、このような災害がひとたび発生すれば多くの人命と財産が失われ、経済機能は麻痺し、国家的な危機に見舞われることとなる。

今年にはG２０大阪サミット及び関連会合等やラグビーワールドカップ、翌年は東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会などの国家的な大規模行事等が相次いで開催されるが、万が一に備え、テロ災害等などから国民を守る体制づくりも重要となっている。

これら自然災害やテロなどの脅威から国民を守る消防機関への期待はさらに高まっているところであるが、群馬県で発生した消防防災ヘリコプター墜落事故や、秋田県能代市及び東京都八王子市の火災で、消防職員１０名の尊い命が失われるという極めて憂慮すべき事態が発生している。

国民の生命、身体、財産を守る消防機関の責務を果たすためには、消防職員の安全に配慮しつつ、広域化、高度化する災害に対応できる職員を確保するとともに、各種装備品の充実や拠点となる消防庁舎等の整備を進め、体制を万全のものとする必要がある。

しかしながら、今般の少子高齢化社会の進展などによる社会保障費の増大によって財政の硬直化が進み、地方財政は厳しい状況である。

については、国による一段の地方財政への支援と地方公共団体の実情に即した財政制度の柔軟な運用及び制度の改善・調整が図れるよう、次の事項について、全国消防長の総意をもって強く要望する。

1 緊急消防援助隊の体制を維持するための財政措置について

- (1) 緊急消防援助隊設備整備費補助金について、車両資機材等の更新を見据えた十分な予算額を確保するとともに、零細補助基準額の引き下げを行うこと
- (2) 無償使用制度について、配置済み車両資機材等の更新計画を策定し、再配置等更新に係る適切な財政措置を行うこと

2 消防水利の整備に係る財政措置について

消防防災施設整備費補助金について、十分な予算額を確保するとともに、補助対象を拡充すること

3 措置期限を迎える緊急防災・減災事業債の対応について

緊急防災・減災事業債を継続すること。当事業債終了の際は同等の財政措置を継続すること

4 地方交付税の所要額の確保について

今後ますます増加する消防需要に的確に対応できるよう、必要な経費を確実に積算し、地方交付税の所要額を確保すること

5 国家的な大規模行事等の開催に伴う対応について

国家的な大規模行事等の開催に伴うテロ災害等の発生に備え、さらなる財政支援を行うこと

決 議

わが国の自治体消防は、地域に密着した防災機関として、社会構造の変化等に的確に対応しながら、消防防災体制の充実・強化を図ることにより、地域住民の安全・安心の確保に大きな役割を果たすとともに、諸外国に国際消防救助隊等を派遣し国際貢献にも寄与するなど大きな発展を遂げてきた。

しかしながら、昨年度も各地で集中豪雨や地震などの自然災害により人的被害や住家被害が発生し、被災地をはじめ周辺地域にも甚大な被害が発生した。

また、8月には群馬県防災ヘリコプターの墜落事故により、消防職員7名を含む搭乗員9名全員が殉職するとともに、1月には秋田県で消防職員2名、さらには東京都においても消防職員1名が建物火災の消防活動中に殉職する痛ましい事故が相次いで発生した。

防災・減災に対する国民の関心が高まるなか、我々消防機関は、地震・風水害・火山噴火などの自然災害、危険物火災などの特殊な災害や事故への対応に加えて、本年度開催するG20大阪サミット・関連会合等及びラグビーワールドカップ2019、さらには来年度に開催を控えた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会といった国家的な大規模行事におけるテロ災害等、あらゆる事態への対応にも取り組む必要がある。

我々全国の消防長は、地域住民が安心して暮らせる災害に強い安全なまちづくりの実現に向け、消防防災行政が直面する諸課題に対し、職員の安全意識や消防活動能力の向上をはじめ消防防災体制の充実・強化を図るため、令和元年度においては、次に掲げる項目を重点として事業を推進するものとする。

一、震災・水災等大規模災害対策の推進

一、G20大阪サミット、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に伴う消防特別警戒体制の確保

一、消防職員の安全管理対策の更なる充実

一、消防広域応援体制の充実・強化

一、消防の広域化及び消防の連携・協力への対応

一、消防救急無線の運用に係る諸課題及び緊急通報を取り巻く情勢変化への対応

一、救急搬送体制の強化、救急業務高度化への対応及び市民等への応急手当の普及促進

一、防火対象物等の防火・防災安全対策の推進

一、危険物施設の事故防止対策の推進

一、消防職員の処遇改善及び女性の活躍推進

一、消防・救急需要に的確に対応した消防職員の確保及び消防装備等の充実

一、情報管理システムを活用した情報共有体制の充実

以上、全国消防長の総意をもって決議する。

令和元年5月29日

第71回全国消防長会総会

※ 前記の要望及び決議については、6月下旬及び7月上旬に総務大臣、消防庁長官等に要望活動を行い、実現に向け関係機関に働きかけを実施してまいります。



【第71回全国消防長会総会の様子】

◆ 一般財団法人全国消防協会通常理事会を開催

一般財団法人全国消防協会

令和元年5月28日(火)、福岡市博多区のグランドハイアット福岡において、一般財団法人全国消防協会通常理事会を開催しました。

通常理事会における議案審議事項、報告事項等については、次のとおりです。

【議案審議事項】

- 第1号議案 平成30年度事業報告及び決算について
- 第2号議案 平成30年度公益目的支出計画実施報告書等の提出について
- 第3号議案 定時評議員会の開催について
- 第4号議案 臨時評議員会の開催について
- 第5号議案 第49回全国消防救助技術大会の開催について
- 第6号議案 賛助会員の加入について

【報告事項】

- 1 職務の執行状況の報告について
- 2 次期通常理事会の開催について
- 3 第48回全国消防救助技術大会のスローガン等について
- 4 平成30年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の表彰及び最優秀賞受賞者による発表の実施について
- 5 機関誌「ほのお」の一部改編について
- 6 令和元年度の消防団体保険事業の現状と推進状況について

【配布資料】

- 1 役員等の状況について
- 2 賛助会員の紹介について



【通常理事会の様子】

◆ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等特別委員会を開催

全国消防長会

令和元年5月28日（火）、福岡市博多区のグランドハイアット福岡において、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等特別委員会を開催しました。

特別委員会における、報告事項については、次のとおりです。

【報告事項】

- 1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等特別委員会の開催状況について
- 2 令和元年度（平成31年度）国の予算概算要求に関する要望結果及び令和2年度予算概算要求に関する要望の予定について
- 3 「ラグビーワールドカップ2019」開催地消防本部の消防特別警戒について
- 4 消防特別警戒に関する記録誌の作成について
- 5 東京2020大会に向けた会場整備の進捗等について
- 6 会場の避難計画について
- 7 東京2020大会の警備について
- 8 今後のスケジュールについて



【特別委員会の様子】

◆ 全国消防長会常任理事会を開催

全国消防長会

令和元年5月28日（火）、福岡市博多区のグランドハイアット福岡において、常任理事会を開催しました。

常任理事会における議案審議事項、報告事項等については、次のとおりです。

【議案審議事項】

- 第1号議案 平成30年度事業報告及び平成30年度収支決算について
- 第2号議案 令和元年度事業計画（案）及び令和元年度収支予算（案）について
- 第3号議案 令和2年度国の予算概算要求に関する要望について
- 第4号議案 令和元年度及び令和2年度全国消防長会役員改選について
- 第5号議案 第72回全国消防長会総会の開催について
- 第6号議案 次期常任理事会の開催について
- 第7号議案 第71回全国消防長会総会決議について

【報告事項】

- 1 防火・避難規定等に関する建築基準法改正に係る要望に対する国土交通省の対応状況について
- 2 平成30年度全国消防長会常任理事会審議結果に基づく措置結果について
- 3 「令和元年度救急車適正利用PRポスター」のデザインの決定について
- 4 消防力の整備指針の一部改正について
- 5 株式会社NTTドコモによる「みえる電話」サービスについて

- 6 楽天モバイルネットワーク株式会社の携帯電話事業参入について
- 7 消防指令システム等の相互接続に関する研究会の結果報告について
- 8 全国消防職員意見発表会のあり方に関するアンケート調査結果について
- 9 「第28回全国救急隊員シンポジウム」及び「第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会」の開催について
- 10 電子会議室の利用拡大と活用について
- 11 第31回アジア消防長協会（IFCA）総会の開催日程等について
- 12 第49回全国消防救助技術大会の開催について
- 13 一般財団法人全国消防協会の消防団体保険事業の現状と加入促進について

【配布資料】

総会と同内容



【常任理事会の様子】

◆ 平成30年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文に関する表彰及び発表を実施
一般財団法人全国消防協会

【受賞者（表彰式出席者）】

1 機器の部

受賞名	消防本部名	氏名	
最優秀賞	熊本市消防局	岡崎 世紘	
秀 賞	さいたま市消防局	横田 和也	
	金沢市消防局	池上 慎弥	
	高島市消防本部	岡見 健司	
	湖北地域消防本部	田中 慶政	高木 誠
	横浜市消防局	三上 寿春	間正 達雄
	久留米広域消防本部	高山 由展	
優 賞	相模原市消防局	大田 貴広	永作 慎一
		宮本 真悟	
	大和市消防本部	直原 省三	
	八女消防本部	高木 俊一	
	横浜市消防局	飯島 俊朗	羽山 力
	京都市消防局	寺島 徹	
	堺市消防局	船間 高広	中野 倫英
	横浜市消防局	榎本 宜薫	渡辺 諒
北九州市消防局	村山 洋一		

2 論文の部

受賞名	消防本部名	氏名	
最優秀賞	久留米広域消防本部	古賀 友章	
秀 賞	見附市消防本部	志田 和規	
優 賞	八女消防本部	樋口 鉄平	
		金澤 知子	南 誠
	川口市消防局	西川 司	

【発表者及び発表作品】

1 機器の部

熊本市消防局

岡崎 世紘

「各種器材に取り付け可能な搬送器具の開発
について」

2 論文の部

久留米広域消防本部

古賀 友章

「自動火災報知設備のIoT導入について」



【記念写真撮影】

◆ 第42回全国消防職員意見発表会の開催及び審査結果

全国消防長会

令和元年5月29日(水)、福岡市博多区のグランドハイアット福岡において、第42回全国消防職員意見発表会を開催し、全国9支部から選抜された10名の消防職員により、消防業務に対する提言や取り組むべき課題等について発表がありました。

発表テーマ及び審査結果については、次のとおりです。

賞 別	支部名	氏 名	消防本部名	発表テーマ
最優秀賞	四 国	安永 優生	松山市消防局	『ジュニア消防検定～自分の命は自分で守る～』
優 秀 賞	中 国	木村 紘子	下関市消防局	『尊厳と法令遵守の間で』
優 秀 賞	東 海	入山 誉之	岡崎市消防本部	『すぐ行きます』
入 賞	九 州	佐々木 瞳	佐世保市消防局	『言葉を越えたその先へ』
入 賞	北海道	藤山 翼	室蘭市消防本部	『もう一步さきの守るべきこと』
入 賞	東 北	壽 達也	盛岡地区広域消防組合 消防本部	『癒しの場のリーフレット』
入 賞	関 東	齋藤 友善	桐生市消防本部	『音で繋がる救命の輪』
入 賞	関 東	杉浦 一	つくば市消防本部	『よく見える化による情報の伝達』
入 賞	東近畿	大澤 由佳	嶺北消防組合消防本部	『JET SMILE!』
入 賞	近 畿	野間 一志	西はりま消防本部	『仮想から現実へ』

※ 優秀賞、入賞の記載順については、発表順です。



【記念写真撮影】



【意見発表の様子】

消防本部の動き

行事

◆ サービス付き高齢者向け住宅において避難訓練を実施

有田市消防本部(和歌山)

有田市消防本部では、令和元年5月24日(金)、管内にある高齢者向け住宅において、和歌山県近海でマグニチュード6.5の地震が発生し、地震により火災となり、屋上に避難した関係者を高所放水車で救出する想定訓練を行いました。

車両の停車位置や救出方法を再確認し、要救助者が迅速かつ安全に救出できるよう心掛け実施しました。

また、想定訓練終了後には心肺蘇生法及びAEDの使用法の講習も行い、実りある一日となりました。



【高所放水車による訓練の様子】



【救命講習の様子】

◆ 尼崎市消防団園田地区運動会を実施

尼崎市消防局(兵庫)

尼崎市消防団園田地区では、令和元年5月26日(日)、尼崎市立園田小学校グラウンドにおいて、消防団と地域との交流や、消防団員の募集活動を目的に『運動会』を開催しました。

運動会では、幼児のアメつかみ、小学生以上での綱引き、親子でのパン食い競争、子供たちの徒競争やサッカーPK合戦、借り物競争、グラウンドゴルフ、玉入れ、最後に消防団員による各分団対抗のリレーを行いました。

また、女性消防団員「あまがさきファイヤーフェアリーズ」によるオリジナルソング「一人一人の大切な命」の披露や、参加されている方々に消防団員の募集活動を行いました。

この運動会には、子どもたちや保護者・地域の方々を含め約300名に御参加いただき、地域との交流を深めることができました。

今後も地域住民との連携を強め、安心・安全なまちづくりに取り組んでまいります。



【開会式・選手宣誓の様子】



【玉入れの様子】

◆ 「県内一斉住宅用火災警報器普及啓発キャンペーン」を実施

福岡市消防局（福岡）

福岡市消防局では、令和元年5月31日（金）、西鉄福岡（天神）駅コンコースにおいて、住宅用火災警報器に関する街頭キャンペーンを実施しました。

福岡県内では各市町村条例により令和元年5月31日（金）をもって、県内全ての住宅に対する設置義務化から10年が経過することから、この機会に、当局が福岡県消防長会住宅用火災警報器設置対策連絡会の座長として、県内全24消防本部の協力を募り、県内一斉に住宅用火災警報器に関する普及啓発キャンペーンを行いました。

今後もこのようなイベントを実施し、市民に防火・防災への関心を持っていただけるようにPRしてまいります。



【街頭キャンペーンの様子】

◆ レスキュー競技会2019を開催

四国中央市消防本部（愛媛）

四国中央市消防本部では、令和元年6月1日（土）、四国中央市消防防災センター訓練施設において、第4回愛媛県救助技術大会選考会を兼ねた「レスキュー競技会2019」を開催しました。

当日は多くの市民が来場し、「ロープ応用登はん」、「はしご登はん」及び「ロープブリッジ渡過」の3種目に延べ37人の隊員が日頃の訓練成果を発揮しました。

また、競技会終了後は、来場したお子さんの放水体験や、消防防災センターを開放し消防車両の見学や防災体験学習を実施するなど、広く市民の皆さまに消防への関心を深めてもらいました。



【放水体験の様子】



【ロープ応用登はんの様子】

訓練・演習

◆ テロ災害対策共同実動訓練を実施

一宮市消防本部（愛知）

一宮市消防本部では、令和元年5月21日（火）、一宮市光明寺公園球技場及びその付近一帯にて、テロ災害対策共同実動訓練を実施しました。

この訓練は、一宮市がラグビーワールドカップ2019のニュージーランド、南アフリカチームの公認チームキャンプ地となったことから、イベントに訪れていた衆人の列に、不審者が乗った乗用車1台が突っ込み、さらに刀剣で襲撃するテロにより多数の負傷者が発生したとの想定で実施しました。

訓練には、当消防本部のほか愛知県一宮警察署、愛知DMAT 2チーム、一宮市危機管理課など計79名、また負傷者役として一宮研伸大学（26名）が参加しました。

関係機関それぞれの役割を確認し連携力が強化された一方で、新たな課題も確認され、課題解消に向けて訓練を継続し、各種災害への対応能力の向上に努めてまいります。



【消防とDMATとの合同指揮本部の様子】



【現場救護所の様子】

◆ 令和元年行田市消防団方面隊訓練を実施

行田市消防本部（埼玉）

行田市消防本部では、令和元年5月26日（日）、当消防本部会議室において、大規模な火災が発生した際の戦術を、消防職員及び消防団員の共通認識とする事を目的とし、机上災害シミュレーション訓練を実施しました。

当市では、木密地域と呼ばれる地区を市内に数カ所抱えているため、当訓練は極めて重要であると考えています。

当日は、消防団員63名の参加により、総合的な指揮運用要領、車両運用要領等、職員や団員の垣根を超えて訓練を行い、それぞれの立場において活発な意見が出され大変有意義な訓練となりました。どのような災害においても最大限の活動ができるよう、地域防災の要となるべく今後も訓練を重ねてまいります。



【机上災害シミュレーション訓練の様子】

◆ 集団災害訓練を実施

池田市消防本部（大阪）

池田市消防本部では、令和元年5月27日（月）、池田市消防署において、集団災害訓練を実施しました。

この集団災害訓練では、「バスと乗用車の接触事故により、多数の負傷者が発生した。」という



【集団災害訓練の様子】

想定で、現場指揮本部の設営、トリアージ、ドクターカーの要請に伴う医師と救急隊との連携、エリア災害登録など、集団災害事案において想定される内容を確認する訓練を実施し、フィードバックを行いました。

近年、全国各地で発生している痛ましい集団災害事案や、6月に実施されるG20大阪サミットにともなう特別警戒、また9月20日から開催されるラグビーワールドカップ2019日本大会を前にした、大変内容の濃い訓練となりました。

◆ 震災警防本部の立ち上げ訓練を実施

豊中市消防局（大阪）

豊中市消防局では、令和元年5月27日（月）、消防局3階作戦室において、震災警防本部立ち上げ訓練を実施しました。

当市で震度5弱以上の地震が発生すれば、消防局に震災警防本部を立ち上げ、市内の被害状況の情報収集、大局的な災害対応方針の決定、当市消防力での対応可否判断、緊急消防援助隊等の受援体制構築及び活動隊の後方支援体制など、多岐にわたる任務があります。

この訓練により、地震災害時における警防本部での対応力の更なる強化を図りました。



【災害対応方針の策定の様子】

◆ 「第2回練馬文化センター 避難訓練コンサート」にて自衛消防訓練を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁練馬消防署では、令和元年5月28日（火）、練馬文化センターにおいて、「コンサート公演中に大震災が発生」との想定で避難訓練を行いました。

来場された600人の観客に対する避難訓練指導のほか、初期消火訓練、VR防災車の体験乗車などを行い、非常時の災害対応について指導しました。



参加者からは「暗い会場での避難訓練は不安であったが貴重な体験になった。」「楽しみながら学ぶことができた。」といった声を頂き、自衛消防訓練の大切さを再確認してもらうことができました。

練馬文化センターは「練馬区帰宅支援ステーション」に指定されており、災害発生時は多くの来館者が見込まれることから、今後も自衛消防力の向上を図っていきます。

【避難訓練の様子】

◆ 自衛消防隊と合同で現地訓練を実施

岡山市消防局（岡山）

岡山市消防局では、令和元年5月28日（火）、危険物安全週間の行事の一環として、岡山オイルターミナルにおいて、岡南地区消防資機材共同備蓄会（以下「岡南備蓄会」という。）と合同で現地訓練を行いました。

この現地訓練では、当局職員作成のピクトグラムを活用した避難誘導や、常備消防隊、管轄消防団及び岡南備蓄会自衛消防隊による合同消火訓練を行い、危険物施設に対する初期対応の充実及び施設職員の防火意識の高揚を図ることができました。

これからも危険物施設事業所と連携を図り、「危険物事故ゼロ」を目指します。



【ピクトグラムを活用している様子】



【合同現地訓練の様子】

◆ 事業所と合同で消防訓練を実施



【消防訓練の様子】

桑名市消防本部（三重）

桑名市消防本部では、令和元年5月29日（水）、株式会社A D E K A 三重工場において、合同消防訓練を実施しました。

この訓練は、令和元年度危険物安全週間に先立ち、事業所の危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進することによる、自主保安体制の確立を図ることを目的としたものです。

今後も、事業所との連携強化を図るとともに、防災意識を共有することで、より一層の火災予防の向上につなげてまいります。

◆ 若手職員のための初期消火訓練を実施

印西地区消防組合消防本部（千葉）

印西地区消防組合消防本部では、令和元年6月4日（火）、当消防組合印西消防署敷地内において、消防士長までの一部の職員（20名）を対象に初期消火訓練を実施しました。

当消防組合は、団塊の世代の退職により、知識と経験を持った職員が減少し、拝命から5年以内の隊員が18%を占めることから、経験不足や不安を抱える若手職員への知識・技術の伝承は急務となっております。

そこで当訓練は、初期消火器具（エアゾール消火器具、強化液消火器、粉末消火器、二酸化炭素消火器）を使用して、教科書に記載された内容だけでなく、初期消火の失敗事例を見せることにより、消火器等の有効範囲と特性を理解させ、知識を裏付ける技術と経験を身に付け、的確な指導要領を習得させるために実施しました。

とても有意義な訓練となり、今後、若手職員が災害現場はもちろん、消防訓練等で市民に自信を持って説明できるものと期待しております。



【初期消火訓練の様子】



【参加職員の集合写真】

◆ 事業所と合同で危険物火災対応訓練を実施

平塚市消防本部（神奈川県）

平塚市消防本部では、令和元年6月5日（水）、令和元年度危険物安全週間に伴い、日本特殊塗料（株）平塚工場において、危険物施設事業所と合同で消防訓練を実施しました。

「火事だ！119番通報と消火！」従業員の掛け声に合わせて、自衛消防隊が消火器と屋外消火栓を使用し、規律ある行動で初期消火を実施し、事業所から指揮隊への情報提供及び救急隊と連携した傷病者の搬送と迅速な活動が確認されました。

また、他の危険物施設事業所の関心も高く、市内の20事業所から約60人の従業員が訓練を熱心に見学しました。

当消防本部では、今後も事業所と連携した体制強化の確立に努め、「安心・安全なまちづくり」を進めていきます。



【合同訓練の様子】

研 修 等

◆ 「令和元年度自主防災訓練指導員養成講習会」を開催

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部（大阪）

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部では、令和元年5月26日（日）、当消防本部において、柏原羽曳野藤井寺消防組合協議会主催による「令和元年度自主防災訓練指導員養成講習会」を開催しました。

講習内容は、煙霧体験、初期消火、AED取り扱い、応急手当、応急担架作成及び負傷者搬送訓練を実施し、柏原市消防団、羽曳野市消防団及び藤井寺市消防団の団員合計103名が受講し、自主防災訓練の指導員となるため熱心に取り組みました。

講習会終了後、受講された団員には修了証が配布されました。



【AED取り扱い訓練の様子】

◆ 消防用設備等実務研修会を実施

北上地区消防組合消防本部（岩手）

北上地区消防組合消防本部では、令和元年5月28日（火）、消防職員を対象に消防用設備等実務研修会を実施しました。

今回の研修会は、自動火災報知設備について消防設備業者を講師に招き、受信盤や配線方法について実機を使い説明を受けたほか、当消防組合管内に建築中の防火対象物に設置される最新システムの説明も行っていただきました。

自動火災報知設備は火災現場でも対応する場合があるため、多くの隔日勤務職員も受講し、知識と理解を深める有意義な研修会となりました。



【研修の様子】

その他

◆ 消防協力者へ消防長感謝状を贈呈

佐久広域連合消防本部（長野）

佐久広域連合消防本部では、令和元年5月27日（月）、管内で発生した救急事案において、救命活動を行った協力者4名に、感謝状を贈呈しました。

当事案は、平成31年1月26日（土）、軽井沢町の「軽井沢タリアセン」内を乗用車が猛スピードで走るのを目撃し、その後大きな音を聞き駆けつけたところ、車が同町を流れる泥川に落ちているところを発見したものです。

4人で水深1メートルほどの川に入り、車の後部座席のドアを開け、傷病者を救出し岸まで搬送しました。岸に到着したところで、救急隊が到着し、傷病者を引き継ぎました。被表彰者の適切かつ迅速な行動が人命救助につながり、傷病者は数日間入院しましたが回復して退院されました。

被表彰者の勇気ある行動により尊い命を救うことができました。この功績に対し消防長より感謝状を贈呈するとともに、引き続き協力をお願いしました。



【贈呈式の様子】

◆ ドローン寄贈式を開催

岩見沢地区消防事務組合消防本部(北海道)

岩見沢地区消防事務組合消防本部では、令和元年6月4日(火)、当消防本部講堂において、無人航空機ドローンの寄贈式を開催しました。

市内で電気設備会社を営する大塚氏より会社創業50周年事業の一環として、ドローン2機が寄贈され、管理者(松野岩見沢市長)より感謝状を贈呈しました。

今回寄贈を受けた機体は赤外線カメラ、LEDライト、自己発熱バッテリーなどを搭載しており、夜間、冬期間など過酷な災害現場での活躍が期待されています。これから各種災害に対応すべく操縦者を養成、訓練に励み、早期運用を目指します。



【寄贈式の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 令和元年度総合防災訓練大綱について

(消防災第29号、令和元年6月4日)

消防庁国民保護・防災部防災課長から各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されたので、お知らせします。

平素より、防災行政の推進に御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

先般、中央防災会議において、「令和元年度総合防災訓練大綱」(以下「大綱」という。)が決定されました。

政府においては、今後、大綱に基づき、政府主催の総合防災訓練等を実施してまいりますので、貴職におかれましても、地域防災力の強化等を図るため、各訓練への積極的な御参加と御協力をお願いします。

また、各地方公共団体における防災訓練等につきましては、住民一人一人が、「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、自らの判断で避難行動をとれる社会の構築に向け、多数の住民や関係機関の参加のもと、当該地域において特に訓練実施の必要性が高い災害を想定し、実践的な訓練を実施するようお願いします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190604_bousai01.pdf) に掲載されています。

【担当】

消防庁国民保護・防災部防災課

防災調整係 舘野係長、片山事務官

電話：03-5253-7525 F A X：03-5253-7535

◆ 火災・災害等即報要領の一部改正について（通知）

（消防応第12号、令和元年6月6日）

消防庁長官から各都道府県知事、各指定都市市長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

火災・災害等即報要領（昭和59年10月15日付け消防災第267号）の一部を別紙（省略）のとおり改正しました。

貴職におかれましては、下記（省略）の改正内容にご留意の上、各都道府県知事におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対し、この旨周知されるようお願いいたします。

なお、本要領に基づく被害状況等の報告は、災害対策基本法（昭和36年法律第223号）第53条第1項及び第2項並びに防災基本計画に基づきなされるものでもあることから、今後とも被害状況等の報告に万全を期するようお願いいたします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190606_oukyuu_12.pdf）に掲載されています。

消防庁国民保護・防災部	
防災課	
ほかぞの あべ 外圍、阿部	TEL 03-5253-7525
応急対策室	
濱田、中尾	TEL 03-5253-7527

報道発表

◆ 市長を対象とした「全国防災・危機管理トップセミナー」の開催

（令和元年6月5日、消防庁）

我が国は、その自然条件から、地震、水害などの災害が発生しやすい特性を有しており、こうした災害はどこでも起きる可能性があります。

災害時には、短期間の内に膨大な業務に対応・処理することが求められ、市町村長はリーダーシップを十分発揮し、的確な災害危機対応を行う必要があります。

このため、市町村長の危機管理意識の一層の向上を図り、市町村の災害対応力の向上等につながるよう、全国の市長を対象とした「全国防災・危機管理トップセミナー」を開催します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/190605_bousai01.pdf）に掲載されています。

<連絡・問い合わせ先>	
消防庁国民保護・防災部防災課	
ほかぞの	
外圍災害対策官・阿部係長・豊田事務官	
Tel 03-5253-7525 Fax 03-5253-7535	

◆ 緊急消防援助隊の登録状況

(令和元年6月7日、消防庁)

平成31年4月1日現在における緊急消防援助隊の登録数は、723消防本部の6,258隊(前年比280隊増※)となりました。

今後は、平成31年3月に改定した「緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画(第4期基本計画)」に基づき、令和5年度末までに、おおむね6,600隊規模を目標に部隊の増強を図ります。

引き続き、大規模・特殊災害等に備え、緊急消防援助隊の充実強化を進めてまいります。

なお、第4期基本計画で創設される「土砂・風水害機動支援部隊」、「NBC災害即応部隊」は、本年6月1日現在で、全国で81部隊※の運用が開始されています。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/190607_kouiki_1.pdf)に掲載されています。

連絡先

消防庁 国民保護・防災部 広域応援室

担当 島田補佐・鍋谷係長・竹本事務官

電話 03-5253-7527

FAX 03-5253-7537

情報提供

◆ 「ポカリスエット アイスラリー」等斡旋販売のご案内

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会の指定店登録業者である大塚製薬株式会社では、夏期限定で「ポカリスエット アイスラリー」等を販売しており、既に全国の消防本部等から多数のご注文を頂いております。

本斡旋販売につきましては送料が無料となる等の会員(消防職員)限定の特典があります。本協会としましては、各種活動における熱中症対策として、皆様に本商品をご活用いただきたく、令和元年6月12日(水)に各本部宛に再度ご案内資料をメールで送付することといたしました。

つきましては、貴本部職員の皆様に一層のご周知をよろしくお願い申し上げます。



【問い合わせ先】

業務課

担当：^{かわの}河野、石井健一

電話：03-3234-1321

◆ 神戸市消防救助隊発足50周年記念誌を公開

神戸市消防局（兵庫）

神戸市消防局では、当市の消防救助隊発足50周年を記念し、これまでの歩みをまとめた記念誌を作成しました。

この記念誌は、救助隊からの歴史を、組織体制、災害対応、訓練等のテーマごとに編集したものです。記念誌は、インターネットのポータルサイト「カタログポケット」で公開していますので、ぜひ一度ご覧ください。

閲覧方法は次のとおりです。

- 1 QRコードからアクセスするか、「カタログポケット」もしくは <http://catapoke.com/> を検索する。
- 2 検索入力欄に「神戸市消防救助」又は「記念誌」と入力する。

(QRコード)



(記念誌)



機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

- ① トップ・セカンド記事
- ② 知識・技術の伝承—教えて！消防技術—
- ③ 女性職員の活躍・推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報No.0117又は機関誌「ほのお」2019年4号（4/25発刊）参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 石井

原稿データは、kikachosei@fcj.gr.jpに送信願います。

③ 消防ワイド

※150文字程度（160文字以内）の原稿Wordデータ及び画像データはWord等に貼り付けずに、JPEGデータのまま送付してください。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：情報管理課 渋谷

原稿データは、joho-sys@fcj.gr.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

TEL：03-3234-1321 / E-mail：weekly@fcaj.gr.jp

記事の投稿に関する注意点

- ・配信日（原則火曜日）から2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200字～400字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1枚～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321 「週間情報」担当：企画課 清田